



おに ふく 「鬼はそと！ 福はうち！」



2026年^{ねん}2月^{がつ}4日^かは「立春^{りっしゅん}」です。

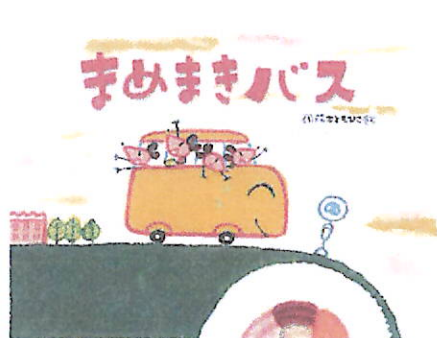
暦^{こよみ}の上^{うえ}では、「立春^{りっしゅん}」が1年^{ねん}の始まり^{はじ}とされるため、立春^{りっしゅん}の前日^{ぜんじつ}を『季節^{きせつ}を分ける日^ひ』という意味^いの「節分^{せつぶん}」と言い、豆^{まめ}まきをして1年^{ねん}の穢れ^{けが}をはらい清める風習^{ふうしゅう}となりました。

節分^{せつぶん}（2月^{がつ}3日^か）は、「みんなが健康^{けんこう}で幸^{しあわ}せに過^すごせますように」という願い^{ねが}を含め、悪いもの^{わる}を追^おい出すために『鬼^{おに}はそと、福^{ふく}はうち』と言いながら、豆^{まめ}まきをします。

ところでみなさんは「鬼^{おに}」と聞いたら、ツノの生^きえたこわい鬼^{おに}の姿^{すがた}を思^{おも}い浮かべる人^{ひと}が多いかと思^{おも}います。しかし、実^{じつ}はもともとは鬼^{おに}の姿^{すがた}は決^きまっておらず、目^めに見えない悪いもの^{わる}を「鬼^{おに}」と呼んでいて、いろい^{いろ}ろな話^{はなし}を通^{つう}じて、だんだん^{だんだん}と今^{いま}の姿^{すがた}になっていったそうです。

おに どうじょう ほん しょうかい ～鬼が登場する本を紹介～

まめまきバス



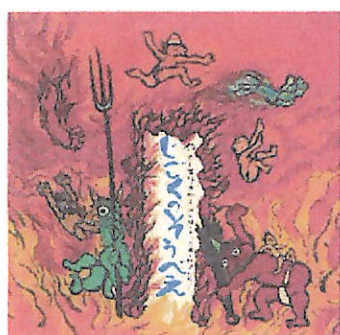
ないた赤おに



まゆとおに



じごくのそうべえ



ももたろう



えんまのはいしゃ

